

学年	J2	コース	ISC/MSTC
教科	外国語	科目名	英語 Standard
授業数	6		

◆ 学習目標

3	与えられた課題だけでなく、興味を持って知識や技能を自ら習得できる。	探究活動で、英語をコミュニケーションのツールとして使用できる。	Global Citizenの一員として、様々な相手とコミュニケーションを取ることができる。
2	学習した文法や語彙の知識を実際での使用場面で活用することができる。	自らの意見や考えをデータに基づいて論理的に表現することができる。	文化の違いによって生じる問題に自ら解決しようとする姿勢をもっている。
1	教科書や教材の内容を正しく理解することができる。	論理的に表現する方法を分析して理解することができる。	異文化に触れた時に、理解しようとする姿勢をもっている。
	知識・技能	応用・実践	批判・創造

◆ 重視したいコンピテンシー

異文化理解	コミュニケーション
-------	-----------

◆ 教材

書名	出版社
New Treasure Stage 1,2	Z会出版
New Treasure 文法問題集 English Search I	Z会出版
New Treasure 英単語 Stage1・2	教育開発出版
Metro Student Book & Workbook 2	Z会出版
	Oxford University Press

◆ 評価材料

項目
期末考査
単元テスト&単語テスト
提出物
Team Teaching

◆ 授業スケジュール

学期	主なピック(単元)
1	New Treasure Stage 1 L12: 比較 New Treasure Stage 2 L1: 接続詞/感嘆 文 L2: 接続詞/助動
2	New Treasure Stage 2 L3: 文型 L4: 不定詞 L5: 動名詞 L6: 受動態
3	New Treasure Stage 2 L7: 現在完了 L8: 名詞/不定詞/再帰代名 詞 L9:後置修飾/分詞による 修飾 L10: 関係代名詞

主な活動

ライティング、リーディング、レシテーション、ボキャブラリービルディング、多読、PBL
--

Grade	J2	Course	ISC/MSTC
Subject	English Language Arts English Literature	Subject Name	Intermediate English
Lesson/wk	6 lessons/week		

◆ Learning Goals

3	Students can recognize in-class materials out of context.	Students can recognize and apply different sets of materials and talk about their original ideas or thoughts.	Students can combine in-class content with original ideas to express their ideas and opinions.
2	Students can recognize new grammar points independently.	Students can apply new skills and learned material to solve a problem independently.	Students can reproduce grammar and ideas from the classroom in their own words.
1	Students can recognize new words and key points taught in class.	Students can use new words and grammar points in a controlled setting.	Students can express their ideas using a select grammar point or group of words.
	Knowledge • Skills	Application • Practice	Critical Thinking /Creation

◆ Focused Competencies

Productivity	Communication
--------------	---------------

◆ Course Materials

Textbook / Workbook	Publisher
Grammar in Context 2	National Geographic/Cengage

◆ Evaluation/Assessment Method

Elements
Grammar
Vocabulary
Reading Analysis

◆ Yearly Schedule

Term	Main Topics (Units)	
1	Grammar in Context 2 Unit 1: Animals Grammar in Context 2 Unit 2: Across Generations Grammar in Context 2 Unit 3: What is Success?	Monkey's Paw Speech Writing
2	Grammar in Context 2 Unit 4: Weddings Grammar in Context 2 Unit 5: American Heritage Grammar in Context 2 Unit 6: A Healthy Planet, A Healthy Body	Speech Contest Charlie and the Chocolate Factory
3	Grammar in Context 2 Unit 7: A New Start	Dr. Martin Luther King Jr. (Biography)

Main Activities

Mini-tests, exams, homework, projects, and reading analysis

Grade	J2	Course	ISC/MSTC
Subject category	外国語	Subject name	英語 Advanced
Lesson/wk	6		

◆ Learning Goals

3	Students can recognize in-class materials that are out of context.	Students can recognize and apply different sets of materials and talk about their original ideas or thoughts.	Students can combine in-class content with original ideas to express ideas and opinions.
2	Students can recognize new grammar points independently.	Students can apply new skills and learned material to solve a problem independently	Students can reproduce grammar and ideas from the classroom in their own words.
1	Students can recognize new words and key points taught in class.	Students can use new words and grammar points in a controlled setting.	Students can express their ideas using a select grammar point or group of words.
	Knowledge • Skills	Application • Practice	Critical Thinking /Creation

◆ Focused Competencies

Communication; Co-Creation; Creative-Thinking	Communication
---	---------------

◆ Course Materials

Textbook / Workbook	Publisher
Great Writing 3 Robert Frost Poetry (from internet) Various Non-Fiction (from internet) Tangerine, by Edward Bloor (novel) The Miracle Worker, by William Gibson Maus, by Art Spiegelman	National Geographic/Cengage

◆ Evaluation/Assessment Method

Elements	
Analysis	Academic Writing
Creative writing	Research
Discussion/Presentation	Presentation Skills

◆ Yearly Schedule

Term	Main Topics (Units)	
1	Poetry analysis Literary devices Literal and Figurative writing Different Non-fiction styles Critical Reading Presentation/Comparisons	<u>Skills</u> Unit 1: Paragraphs Unit 2: Features of Good Writing Speech Contest Writing
2	Character development Social issues described in the novel Issues in communication Overcoming Challenges	Speech Contest Presentations Unit 3: Types of Paragraphs Unit 4: Classification of Essays: Moving from Paragraph to Essay Unit 5: Cause-Effect Essays
3	Historical context Different media (graphic novel) Judaism Character relationships	Unit 6: Comparison Essays Unit 7: Problem-Solution Essays

Main Activities

Analyses, presentations	Weekly writing, mini-tests, projects, speeches
-------------------------	--

学年	中学2年	コース	ISC / MSTC
教科	国語	科目名	国語表現
授業数	3時間/週		

◆ 学習目標

3	物語構成の黄金比、登場人物のアーキタイプ等の創作の作法を理解し、自己成長へとつなげている。	各学期で得た知識に自分の考えを付け加え、創造的な取り組みへと昇華している。	ヒーローズ・ジャーニー等の「創作の型」を逸脱しつつ他者を惹きつける独自の物語を紡いでいる。
2	物語構成の黄金比、登場人物のアーキタイプ等の創作の作法の本質をしっかりと理解できている。	各学期で得た知識を自分のものとして吸収し、成果物に有機的に活かしている。	ヒーローズ・ジャーニー等の「創作の型」の本質をつかみ、内省し、更なる高みを目指している。
1	物語構成の黄金比、登場人物のアーキタイプ等の創作の作法について、知識として理解できている。	各学期で得た知識と成果物の関連性を理解し、成果物へ取り入れようとしている。	ヒーローズ・ジャーニー等の「創作の型」の構成を正しく表現し、他者を惹きつける創作ができる。
	知識・技能	応用・実践	批判・創造

◆ 重視したいコンピテンシー

創造性	社会参画
-----	------

◆ 教材

書名	出版社
伝え合う言葉 中学国語2	教育出版

◆ 評価材料

項目
定期試験
授業内課題(主にプロジェクト活動)
提出物(休み明け課題含む)と授業態度

◆ 授業スケジュール

学期	主なトピック(単元)
1	ヒーローズ・ジャーニーの概念を学び、物語を紡いでみる。 ・理論の習得:クリストファー・ボグラ『作家の旅』他 ・物語の構造分析:『ワンピース』他 夏休みに実施する企業訪問の準備として「業界研究」を行い、そこで得た専門知識にヒーローズ・ジャーニーをかけ合わせて創作を行う。 ・内田樹『働くことの意味』
2	ショートショートを題材として、共通の題材から創意工夫を凝らして創作に取り組む。 ・田丸雅智『蜻蛉玉』他 太宰治『走れメロス』を題材に、物語の拡張を行う。 ・原案のシラー『人質』との比較読み・構造分析 ・翻案を題材とした創作活動
3	「ルールに基づく創作」の一環として、俳句に取り組む。 「モチーフ」や「象徴」といった概念をキーワードとして、「物語」として俳句を創作する。 ・俳句を用いた議論・ディベート ・俳句の創作(生成AIの活用)

主な活動

人を惹きつけ熱狂させるような物語には、洋の東西や時代を超えた普遍的な構造があります。この授業では、その普遍的な構造である「ヒーローズ・ジャーニー」を学び、実践を繰り返しながら習得することを目指します。ヒーローズ・ジャーニーは、スピーチやプレゼンテーションなど、様々な場面に応用できるため、中学2年で学ぶことに大きな意義があると考えています。

学年	中学2年	コース	ISC/MSTC
教科	国語/古典	科目名	国語演習
授業数	2時間/週		

◆ 学習目標

3	古典作品の時代背景や文化の知識を理解し、多角的な視点で作品を読むことができる。	作品分析の成果を元に、その時代の文化や思想的特徴を理解することができる。	通史的に考察した日本文化・思想の特徴を元に、現代の日本が抱える諸問題について考え、自身の将来に生かすことができる。
2	単語や文法の知識を元に、古典の内容を適切に現代語訳できる。	複数の作品の比較を通して、それぞれの作品の特徴をより明確化できる。	時代ごとの文化・思想の特徴や変遷に対して自身の考えを持ち、創作活動に生かすことができる。
1	日本語の仕組みを理解し、単語・文法などの古文読解に必要な基礎知識が定着している。	現代語訳や解釈等の分析作業を通して、古典作品の表現の特徴や主題を適切に理解することができる。	対象作品の作者、時代について知り、自身の言葉で学んだ知識をまとめることができる。
	知識・技能	応用・実践	批判・創造

◆ 重視したいコンピテンシー

探究心	異文化理解	創造性
-----	-------	-----

◆ 教材

書名	出版社
ビジュアルカラー国語便覧	大修館書店
十訂版 読解をたいせつにする体系 古典文法	教育出版
八訂版 読解をたいせつにする体系 古典文法ワーク	数研出版
新版 古文用言・漢文書き下しマスターノート	数研出版
古文単語315	桐原書店

◆ 評価材料

項目
提出物・成果物
発表(個人・グループ)
テスト(定期・単語・文法)

◆ 授業スケジュール

学期	主なトピック(単元)
1	古典の基礎を学ぶ ・歴史的仮名遣い/読解 ・古典文法を学ぶ(用言・活用の種類と活用形・係り結び) ・古典作品の脚色を分析する
2	日本人・日本文化と古典文学 ・古典読解 ・百人一首
3	現代につながる古典

主な活動

読解・調べ学習・グループワーク・個人ワーク・制作・発表など

学年	中学2年	コース	ISC / MSTC
教科	数学	科目名	数学
授業数	5		

◆学習目標

3	目的に応じた数学的な表現、処理をすることができる	自分の考えを、数式や文章などの表記を活用して正しく簡潔に表現することができる	自分の考えを他者に論理的に伝え、表現できる 他者の考えを聞き、分析・評価することができる
2	文章を式やグラフ、図形などで表現することができる	状況に応じた推論の方法を正しく選択し、結論に至った経緯を論理的に説明できる 融合問題、思考力問題への探究 複数の解法を考える	具体的な事象に潜む数学的な関係や法則を一般化することができる
1	基本的な計算法則を身につける 定義・定理・公式に当てはめて解を導くことができる	その問題に即した定理・公式を利用することができる 証明技法を身に着ける	具体的な事象に潜む数学的な関係や法則を発見する
	知識・技能	応用・実践	批判・創造

◆重視したいコンピテンシー

問題解決能力	探究心
--------	-----

◆教材

書名	出版社
体系数学2 代数編	数研出版
体系数学2 幾何編	数研出版
数BEKI 代数Ⅱ	教育開発出版
数BEKI 幾何Ⅱ	教育開発出版

◆評価材料

項目
確認テスト・提出課題
定期試験

◆授業スケジュール

学期	主なピック(単元)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・式の計算 ・平方根 ・2次方程式 ・図形と相似 ・線分の比と計量
2	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数 ・データの活用 ・円 ・三平方の定理
3	<ul style="list-style-type: none"> ・確率と標本調査 ・三平方の定理 ・中学数学の総まとめ

主な活動
グループワーク、探究活動

学年	中2	コース	ISC/MSTC
教科	理科	科目名	理科
授業数	週5時間		

◆学習目標

3	<ul style="list-style-type: none"> 観察し、正しく分類同定することができる。 様々な法則や現象を自分の言葉で説明できる。 単元範囲を俯瞰し、自分にとって大事である問題を問題集から選択して取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的にあった実験を設計できる。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 観察し、正しく記録表現ができる。 探究・プロジェクトの活動の中で実践的に単元知識を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果や現象の原因を説明できる。 既知の学びと関連付け、整理することが出来る。 異なる現象の関係性を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 疑問に対し、根拠のある仮説を立てることができる。また検証法を示すことができる。 仮説や結果について矛盾を見つけ議論できる。 問いのサイクル(2週目)を回し深めていくことができる。
1	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の基礎的事項を知識として習得できる。 実験器具を正しく使うことができる。 小テストなどでセルフモニタリングする。 	<ul style="list-style-type: none"> 共通点や相違点から、それぞれの特徴について考えることが出来る。 現象について調べ分析することが出来る。 探究活動の中で単元知識を有効活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現象や事象から疑問を見つけ言葉にできる。 自分の意見と異なる予想や仮説について、疑問を 見つけ質問できる。 セントラルアイデアを軸に異なる単元間の繋がりを見出し、問いのサイクルを回すことができる。(1周目)
	知識・技能	応用・実践	批判・創造

◆重視したいコンピテンシー

探究心	共創
課題解決力	

◆教材

書名	出版社
中学の化学・中学の生物・中学の物理・中学の地学	教育開発出版

◆評価材料

項目
小テスト
アセスメントおよびリフレクション
探究成果物

◆授業スケジュール

学期	主なトピック(単元)
1	動物の分類 消化と吸収 血液循環と排出 回路と電流・電圧
2	原子の構造 化学変化(化合と分解・酸化と還元) 電気分解と電池
3	地層 化石 生殖と遺伝 生物の変遷と進化

主な活動

調べ学習、ポスター作成、プレゼンテーション、実験、問いづくり、探究活動、振り返り

学年	中学2年	コース	ISC/MSTC
教科	社会	科目名	社会(歴史)
授業数	3コマ/週		

◆学習目標

3		史資料を踏まえ、授業内でその出来事の「歴史的意義」を捉えることができる	歴史での学習を通じて、物事を多角的な視点から捉え、現代への諸課題について問題意識を持ち、考えることができる。
2	①歴史の流れを把握し留上で必要な重要語句を説明できる ②歴史の大きな流れを理解する	提示した史資料の特徴を把握し、それが歴史にとってどのような意味を持つのか考えることができる	歴史を過去の出来事と捉えるのではなく、現代社会と繋がっていることを意識し、歴史を学んだうえでどのように行動するか考えることができる
1		提示した史資料を踏まえ、問いに答えることができる	・歴史を学ぶ意味を自分なりに見出すことができる ・単元を通じて、新たな問いを立てることができる
	知識・技能	応用・実践	批判・創造

◆重視したいコンピテンシー

社会参画	探究心
------	-----

◆教材

書名	出版社
中学歴史 日本と世界/歴史資料集	山川出版社・浜島書店

◆評価材料

項目
40% 期末試験
40% 長期課題レポート/振り返りform/授業内課題/プ
20% 授業中テスト

◆授業スケジュール

学期	主なトピック(単元)
1	歴史との対話 古代までの日本
2	中世の日本 近世の日本(元禄時代)
3	近世の日本(幕藩体制の動揺～) 近代の日本と国際関係(～帝国主義)

主な活動

授業で提示したプリントを用いたグループ活動、個人でのまとめ